

## 暴力行為と情報モラルについて考える 2月18日

暴力行為を撮影した動画が投稿・拡散される事件を受け、本校では全校生徒で「暴力行為」と「情報モラル」について考える時間を設けました。暴力やいじめは決して許されるものではなく、内容によっては犯罪行為に該当する場合があります。学校内であっても社会の一員として責任ある行動が求められることを確認し、ワークシートを通して一人一人が自分の考えを深めました。また、SNS等における情報の拡散についても学習しました。一度インターネット上に公開された情報は完全に削除することが難しく、無責任な投稿や拡散が人権侵害につながるおそれがあることを再確認しました。さらに、第3回いじめアンケートを実施し、いじめの見逃しがないか緊急点検を行っております。今後も学校と家庭が連携を密にしながら、暴力やいじめを許さない姿勢のもと、安全で安心できる学校づくりに努めてまいります。ご家庭でも、お子様とインターネットの使い方や思いやりある行動について話し合ってくださいようお願いいたします。



「なぜ動画が拡散してしまうのか」をグループで話し合い、全体発表する3年生

【生徒の感想より】  
 □犯罪は誰もが加害者・被害者になる可能性があることがわかりました。これからは、安易な感情に流されず正しい判断を身に付けていきたいです。  
 □インターネットを扱うことに恐怖をもつようにしたい。  
 □悪ふざけと呼ばれる行動は犯罪にもつながるので、日々の行動を気をつけたい。インターネットは何気ないものでも簡単に広まってしまい、表面上ではわかりづらい危険性があるので当たり前のように使っているスマートフォンでも気をつけて使おうと思った。

## 総合的な学習の時間「なりたいじぶん」～ようこそ先輩～ 2月24日

総合的な学習の時間「なりたいじぶん」の学習の一環として、社会人や大学生の卒業生を招き、自身の進路や仕事、大学での学びについて話していただきました。生徒は先輩の話聞くことで、将来のイメージを具体的に持ち、進路や目標について考える貴重な機会となりました。また、多様な進路や価値観に触れることで、今の学習や学校生活の意義を再認識し、将来への意欲や学習への取り組み方を見直すきっかけにもなりました。今後もこうした機会を通して、生徒が主体的に未来を描く力を育ててまいります。



大学時代に探究し、作成したプレゼンについて説明する会社員の平間さん

## 除雪ボランティア 2月24日

先日、生徒18名が、地域貢献活動として近所のお宅の除雪ボランティアを行いました。当日は雪は降っていませんでしたが、雪解けが進み、水分を含んだ重い雪が残っていました。子どもたちはスコップを手に、重たい雪に苦戦しながらも、友達と協力し合い、黙々と作業に取り組みました。作業を終えると、「助かりました。ありがとう」と温かい言葉をいただき、子どもたちは達成感に満ちた表情を見せていました。今回の活動を通して、地域のために働くことの大切さや、協力することの喜びを学ぶことができました。



汗だくで除雪をする生徒たち

## 小学校への理科乗り入れ授業 2月25日(登小) 27日(黒川小)

～身近な表示から考える「金属と水溶液」～

本校理科担当教員が小学校6年生を対象に乗り入れ授業を行いました。今回のテーマは「金属と水溶液の性質」です。授業の導入では、鍋の表示に「酸性またはアルカリ性のものを入れないください」という注意書きがあることを紹介しました。子どもたちからは「どうして入れてはいけないのだろう」「金属がどうなるのかな」といった疑問の声が上がりました。そこから、「酸性やアルカリ性の水溶液は金属を変化させるのか」という課題を設定しました。鉄やアルミニウムを例に挙げ、「どのような変化が起こるのか」「同じように変化するのか」などの予想を立て、その理由も含めて話し合いました。さらに、予想を確かめるための実験計画も自分たちで考えました。どの水溶液を使うか、どのように比べるか、安全に行うために何に注意するかなどを整理し、見通しをもって実験に取り組みました。実験後は、結果をグループごとにまとめ、全体で交流しました。予想と結果を比べながら、「酸性の水溶液は鉄を変化させることがある」「金属の種類によって反応の仕方が違う」などの気付きが生まれました。リーダーを中心に主体的に話し合いを進める姿が印象的でした。身近な生活の中の疑問から課題を見つけ、予想を立て、実験で確かめ、結果を交流するという探究的な学びを通して、中学校での理科につながる充実した時間となりました。



水溶液の扱いに気を付けながら実験結果を確かめる小学生